

アナスタシアのお茶会開催について

【1995年、実業家ウラジミール・メグレ氏は、シベリアのタイガにひっそりと暮らすアナスタシアに出会い、本を著すことになりました。現在、10巻を超えるシリーズは世界で1,100万部を突破し、20ヶ国で翻訳出版され世界で読み継がれています。そして、アナスタシアのメッセージは、世界の人々に「希望」を届けています。ロシアの懸命なる一女性、アナスタシアからのメッセージ。中でもアナスタシアが力をつけているダーチュニク（家庭菜園をする人々）との交流。それは、私たちアグリガーデンスクール&アカデミーの目指す、健康な土づくりからの健康な野菜づくり、健康な社会づくりにつながるものでした。そこで、このたび岩砂晶子さんにお越しいただき、日本語版を監修するに至った想い、著者であるウラジミール・メグレ氏の想い、ロシアの現状などをお話いただく機会を設けました。】



当校舎近くはイチヨウの絨毯が。



お茶会の手製案内看板です。



お茶会の風景です。